

# 会報

## 発行所

広島市中区八丁堀11番28号  
朝日広告ビル4F

広島県高等学校  
PTA連合会

電話(082)223-3347  
FAX(082)223-3351

HP www.hiroshima-koup.sakura.ne.jp/

## ★ 広島県高P連

## NO. 172

### 第七十回 全国高等学校PTA連合会大会 島根大会

開催日 令和三年八月二十五日  
開催場所 オンライン配信

第七十回全国高等学校PTA連合会大会・島根大会「ご縁(えん)づくり」新たな明日への礎(いしずえ)のために開催されました。今年度は通常開催とは異なり、史上初めてのオンライン開催(無観客開催)となりました。これまでとは大幅に変更された大会実施方法に相当なる不安や御苦労があったことと思われまます。とても盛大に開催して下さった島根県高等学校PTA連合会実行委員会の皆様、また関係各位の皆様にご感謝いたしますとともにまずもって厚く御礼申し上げます。

さて、大会の概要になりますが、開会式よりライブ配信が行われ、松江商業高等学校吹奏楽部による演奏パフォーマンスのアウトラクションで幕を開けました。

記念講演は、小泉八雲記念館館長・小泉凡氏により、小泉八雲が松江に惹かれていくエピソードや、母国と重ね合わせ親しんだ町の音風景などの素晴らしい物語り、つづいて松江出身の俳優・佐野史郎氏とミュージシャン・山本恭司氏による小泉八雲朗読のしらべ「八雲彷徨く神々の国の首都 松江から



と題し、プロならではの心のこもった朗読と音楽の共演パフォーマンスという新しい総合芸術に魅了されました。再度アウトラクションで浜田商業高等学校郷土芸能部による神楽の上演により更に盛り上がる中、閉会式へ移り来年度の開催地・石川県へと連合会旗が授与されました。午後からは六つのテーマに分かれた分科会が前撮り形式により開催されました。



第一分科会では、「Wi thコロナにおける学校教育の形とこれからの学びのデザイン」予測不可能な未来を生きていくには」と題し、江津高等学校神楽愛好会による神楽が披露されたのち、基調講演・模擬授業が配信されました。第二分科会では、「正しく怖がる』で創るネットとのご縁」SNS・スマホで絶対に失敗しない方法とは」と題し、江津高等学校神楽愛好会による神楽が披露されたのち、基調講演と会場インタビュアー・質疑応答が配信されました。

第三分科会では、「地域で育む未来への学び」教育の魅力化でひろがる新たなご縁」と題し、三刀屋高等学校演劇部による朗読創作劇が披露されたのち、基調講演とディスカッションが配信されました。「体験でつなぐ人

々とのご縁」『人生百年時代』『不確かな時代』を生きるためのキャリアデザイン」と題し、三刀屋高等学校演劇部による朗読創作劇が披露されたのち、基調講演とディスカッションが配信されました。

第五分科会では、「グローバルにつながる教育とのご縁」SDGs(持続可能な開発目標)と新たな明日への礎のために」と題し、出雲農林高等学校出雲太鼓部の太鼓演奏が披露されたのち、基調講演とディスカッションが配信されました。

第六分科会では、「未来社会に対応するための教育とのご縁」『主体的・対話的で深い学び』や『学校と社会的連携・協働』のあり方」と題し、出雲農林高等学校出雲太鼓部の太鼓演奏が披露されたのち、基調講演とディスカッションが配信されました。これらの映像は、今年十二月末までアーカイブを視聴が出来るようにされておりまますので、是非御視聴いただければと思います。また、今大会を各地区連合会の研修に役立てておられる地区もございます。全体の印象としては、子供たちと大人たちの参加型形式を工夫して多く取り入れられており、この時代を乗り越えるための新たな礎(いしずえ)を築き、進化が加速する現代から未来へ向け、一緒に育んでいきたいの思いが込められている内容だと感じました。まだまだコロナウイルス感染拡大の不安で落ち着いた日常生活を送ることはできませんが、少しずつでも普通の生活が戻ってくることを祈念いたします。今後とも御支援・御協力の程よろしくお願いたします。

(県高P連幹事 岡戸 力)

## 「第七十回全国高等学校PTA連合会大会島根大会」に参加して

令和三年八月二十五日に、大会史上初めての「オンライン」による大会が開催されました。本来昨年度に島根県で予定されていた第七十回大会が、感染症拡大の影響により、今年度に開催延期となりました。その時点では、感染が収束することを願い、従来同様に全国から参加者を迎えての大会実現を想定していました。しかし、波のよりに感染拡大が繰り返される中、集合対面式の開催形態を断念、この新たな形式での開催とされました。オンライン大会の具体的なイメージや展開の予想がつかず、どうなるものかと心配な気持ちもありつつ、一方で新しいイベントとの出会いへの期待もあり楽しみにしておりました。

開催案内が示され、オンライン配信の大会参加は学校単位での参加申し込みとなり、これまでの手続きとは全く異なる方法で少々戸惑いを覚えながらも当日を迎えることとなりました。本大会は、「縁つくり」をメインテーマに、新たな明日への礎のためにくをサブテーマとして幕を開けました。



事前に通知されたURLとパスワードにより、スムーズにアクセスでき予定どおり大会に参加できました。自宅パソコンでの視聴という日常の生活と、大会という非日常の場面とが混在し、不思議な感覚の中で画面に見入りました。開会までの配信映像では、各都道府県市の参加PTA連合会の紹介映像が続きました。それぞれのお国の名所や観光写真が多い中、PTA活動の様子をうかがえる写真が出てくる画面に好感を持ちました。各地で活動されているPTA会員の生き生きとした表情を拝見し、共感するとともに伝わってくる思いを感じました。

続いてのオープニングのアトラクションは、島根県立松江商業高等学校吹奏楽部により「川のながれのように」と「September」が演奏されました。部員によるソロ歌唱やダンスも取り入れていて、画面越しに高校生らしい素直さや純朴さが伝わり、爽やかな清々しい気持ちになりました。生徒たちの明るさに元気をいただきました。

開会式も順調に進められ、臨場感はないものの大会の雰囲気味わうことが出来ました。続く記念行事は、松江にある小泉八雲記念館の小泉凡館長の講演と、松江出身の佐野史郎氏(俳優)・山本恭司氏(ミュージシャン)の公演でした。

小泉館長は、「小泉八雲がみた日本の魅力」五感でとらえた明治日本のすがた」と題し、曾祖父である八雲(ヘレンさん)の生い立ちや人生の歩みを紹介しつつ、彼の心象や心の機微に触れ、その人間性が伝わってくる穏やか

で心豊かな講演をしていただきました。語りの中で、八雲の教育観として教育における想像力の価値を重視していたこと、「記憶力は想像力を借りずに育めると誤解している。」と想像力を育む大切さを訴えていたことを紹介され共感できました。また、八雲が関心を持った怪談話については、そこに「Love being strange r t h a n d e a t h」(超自然の物語には、一面の真理(truth)がある。)と指摘したこと

が強く印象に残っています。佐野氏は、残念ながら来場できず録画映像での「朗読」公演でありましたが、同級生であった山本氏は、ギター



のライブ演奏でジョイントされ感性豊かなひと時をいただきました。

閉会式の前に、島根県立浜田商業高等学校郷土芸能部のアトラクションが披露されました。伝統の石見神楽を迫力あるダイナミックな動きでのびのびと表現し、堂々たる発表でした。

午後からは、六つの分科会が同時に展開され、それぞれ高校生によるアトラクション(二十分)と基調講演・協議(百五十分)の構成でした。これらの分科会は当日のライブでのオンライン配信に加え、令和三年十二月三十一日までアーカイブ配信されています。従来は、所属の分科会の内容しか参加

できなかつたものが、後日でも関心のある内容を好きな時に繰り返し視聴できるという、まさにICTを有効に活用できる新たな取り組みであると感心しました。今後、集合対面式の大会であっても、継続していただきたいと思っています。

私は、第五分科会(テーマ・サブテーマ)「グローバルにつながる教育とご縁」SDGs(持続可能な開発目標)と新たな明日への礎のために」に参加しました。

関西学院大学SGU招聘客員教授の久木田氏による「地球と私たちの未来：二十一世紀の生き方とSDGs教育」と題した基調講演があり、次の発言が印象に残っています。

「今の高校生は二十一世紀から二十二世紀にかけての百年を生きていく。この世代は『私の運命』地球の運命』である。誰一人取り残さない(No one will be left behind)』ためには、経済・社会・環境の調和をすべての人がやっていかないと間に合わない。世界が力を合わせて目標を設定していけば達成できる。その世代に求める力は、①地球レベルのアイデンティティとビジョンを持つて考え行動できる力。②使命感を持って諦めることなく地球規模で問題を解決できる力。③世界の多様性を力としてシナジー(相乗効果)を作りだせる力である。」

本人自身が自分で一番大切なものは何か、自分で物事を決めていく。本人が目指そう、したいという気持ちを持った時、せめて親はそれを打ち砕かない。困難に耐える力がついてくる。世



界に出ていく自分の人生をデザインする。」

続いて行われたパネルディスカッションでは、地元高校の保護者、起業家、ユニセフ職員、大学教員が参加し、多様な視点から高校生に期待する思いが語られました。

参加者の学びの場として、今回の大会内容は十分満足を得ることが出来ました。

本大会の実現にあたり、準備段階から格別の御努力と御苦勞を重ねてこられた全国高等学校PTA連合会と島根大会実行委員会の皆様に、心から深い敬意と感謝を申し上げます。ありがとうございました。

(県高P連調査広報委員会委員 協谷孔一)

・全県一斉あいさつ運動ポスター原画  
・「通学・交通マナー」標語  
入賞作品の御紹介

広島県高等学校PTA連合会では、毎年十一月一日を「あいさつ運動」実施日とし、コロナ禍の中、各校、各駅などで感染症対策を徹底しつつ、実施いただきました。朝早くから寒い中実施いただき、各校のPTAの皆様、御力をありがとうございました。

また、「あいさつ運動」周知のためのポスター原画募集を行い、健全育成委員会で厳正なる審査を実施し、応募総数、十三校、九十八点の作品の中から、広島県立広島観音高等学校山崎はる菜さんの作品を優秀賞に選び、ポスターとなりました。

受賞された生徒さんは次のとおりです。

〔優秀賞〕

広島県立広島観音高等学校 山崎 はる菜



〔佳作〕

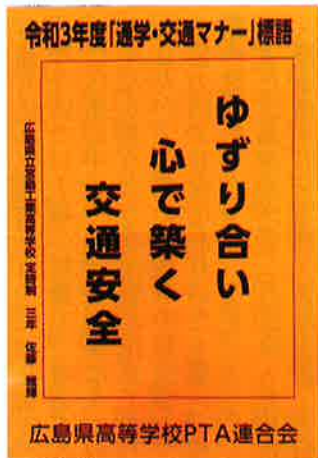
- 広島県立広島国泰寺高等学校 津田 航平
- 広島県立高陽高等学校 山崎 加奈未
- 広島県立呉特別支援学校 江能分級 重田 烈
- 広島県立呉特別支援学校 亀 高和生

〔会長特別賞〕

「通学・交通マナー」に関わる標語募集を行い、応募総数、十三校、百十一点の作品の中から、広島県立宮島工業高等学校定時制佐藤雅輝さんの作品を最優秀賞に選び、ポスターとなりました。受賞された生徒さんは次のとおりです。

〔最優秀賞〕

広島県立宮島工業高等学校 定時制 佐藤 雅輝



〔優秀賞〕

- 広島県立吉田高等学校 稲垣 克哉
- 〔広島地区連合会賞〕 広島県立広島観音高等学校 森川 朗
- 〔広島東地区連合会賞〕 広島県立安芸府中高等学校 川原 爽
- 〔広島西地区連合会賞〕 広島県立宮島工業高等学校 定時制 濱田 勇磨
- 〔広島北地区連合会賞〕 広島県立高陽高等学校 中山 可梨
- 〔呉地区連合会賞〕 広島県立音戸高等学校 角 西 凛
- 〔尾三地区連合会賞〕 広島県立忠海高等学校 笠谷 駿
- 〔福山地区連合会賞〕 福山市立福山高等学校 包 雅叶慧
- 〔三次地区連合会賞〕 広島県立日影館高等学校 佐々木 友翼

県高P連副会長・幹事 寄稿

令和三年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむなく、行事を中止したものが多々ありました。なかなか好転しないこの状況ですが、年末にきて少しずつ、ほんの少しずつ明かりが見えてきたように思います。

しかし、コミュニケーションをとることができない、このような時にこそ、少しでも明るい話題や、PTA活動についての思いなどお聞かせ願えたらと考え、県高P連副会長と幹事の皆様に御寄稿いただきました。

皆様、大変お忙しいところ、御協力いただき感謝申し上げます。ありがとうございます。本号と次号に分けて掲載いたしますので御高覧ください。



県高P連 副会長 山本 祐二

「学びのあるPTA活動」

令和二年度広島県高等学校PTA連合会定例総会(書面総会)において広島県高等学校PTA連合会副会長に選任いただいたから現在に至るまで、コロナ禍によってさまざまな行動に制限がかり、会員の皆さまとの情報交換等、これまでのような活動ができていないのが残念でなりません。

思い起こせば、双子の娘が小学校二年生の時に頼みに頼み込まれて、学校に足を運ぶ機会も多くなり、学校の様子がよくわかって良いかと思ひPTAデビューしました。小学校のPTA会長時代では、小学校区の地域の方々と連携や交流、続いて中高一貫校のPTA副会長・会長を経験したことで広島市PTA協議会、広島県高等学校PTA連合会と二つの上部組織の会員の皆さまと連携や交流することができました。PTA活動をしていたからこそ関わっていかれた方々と単P会長としての悩みや相談など情報交換することで広島地域のネットワークができ、新たな発見や多くの事を学び得ることができました。そのおかげでここまで続けて来られたのだと思います。早いもので我が子は、大学二年生になっており、単P会長も卒業したにもかかわらず縁あってPTA活動十三年目に入っております。

これからのPTA活動では、活動内容見直しや会議のあり方など、今までのやり方を去就するだけではなく、参加される方々のライフスタイルを尊重したオンライン会議や書面審議など工夫を凝らし効率の良い運営方法に変化していくのではないかと思います。ただ個人的には、やはり直接会って話すことで新たな発見や学びがあると思うので、可能な限りリアル開催をして多くの方々と情報交換が出来ればと思います。

切なことは、子供たちの学びを止めないことではないかと思ひます。今こそ「保護者」「学校」「地域」が連携し、子供たちが未来に希望を持てるように学びの機会と実りある学校生活の持続をサポートすることで、人を思いやり、お互いを尊重しあう大切さを失わせないよう協力する必要があると考えます。新型コロナウイルスが収束した頃には、新たなPTA活動が定着し、再び、「一つ」になって互いの成長へとつながることを期待します。



県高P連 幹事  
(広島西地区高P連会長)  
**岡戸 力**

皆さま初めまして。五日市高等学校PTA会長の岡戸 力(おかど ちから)と申します。昨年度より多方面からの圧力によりPTA会長を引き受けることとなり、今年度が最終年になります。また、今年度は輪番制で巡ってくる広島西地区会の会長も仰せつかっております。

私は娘二人(高校三年・大学三年)の父であります。幸いなことに娘たちは世間でよく聞かれる父親離れがいまだになく、時々ではありますが一緒にランチしたりショッピングや映画に行ったり、とても仲良く相手をしてくれます。もちろんその際には私の財布が必需品となります。私の趣味(特技)ですが、学生時代から野球をして

いた縁で現在はソフトボールをしており、壮年クラブチームに所属し全国大会を目指しております。過去三回ほど全国大会に出場しましたが、すべて初戦敗退...まずは一勝を目指して頑張ります。

さて、日頃のPTA活動についてですが、本校はPTA執行部の他に進路部・生活部・文化部と三つの部からなる常任委員会があります。進路部は例年であれば大学見学会を開催して見学に行けなかったため、本校に大学の教授や講師をお招きし、生徒と一緒に大学模擬授業を受けたり、進路講演会を開催して保護者に参加していただいたしております。生活部はあいさつ運動や下校見守り指導を行っています。本校は広島市西部の高台に位置しているため交通機関も限られており、大半の生徒が自転車通学をしております。そのため登下校時の自転車事故が時々発生します。少しでも抑止効果が生まれるようにと教職員や生徒会と一緒に取り組んでおります。

また文化部は年数回発行されるPTA新聞『展望台』の作成に取り組み、毎号とも生徒たちの学校生活をたっぷり盛り込んだ内容となっております。

昨今はコロナ禍の影響で、事あるごとに行事の中止や延期を余儀なくされなかなか思うような活動が出来ておりませんが、各部の保護者の皆様がとてもしっかりと非常な思いがたく思ひ、感謝の気持ちでいっぱいです。

また広島西地区会(五日市・廿日市・湯来南・廿日市西・宮島工業・大竹・美鈴が丘・佐伯・廿日市特支・広島

西特支)の事業では、単P会長協議会・あいさつ運動・研修大会を開催しております。

今年度の研修大会は、集合形式を取りやめ、オンラインでの研修会を実施し、いつでもどこでもだれでも多くの保護者が参加できる形にいたしました。日頃から各校との連携もあり、活発に意見交換できる環境でもあります。

昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、学校へ出向く機会もめつきりと減り、子供たちと関わる機会はもちろん、PTA運営もままならない状況です。

それでも三年間という短い学校生活の中で、大人たちが何か子供たちのために思い出作りや後押し出来ることはないかと日々知恵を絞り、少しでも役に立つことができるようこれからも頑張っていきたいと思っております。



県高P連 幹事  
(進路対策委員長)  
**伊藤 幹**

本年度進路対策委員長を務めさせて頂いております。県立広島商業高校PTA会長の伊藤です。

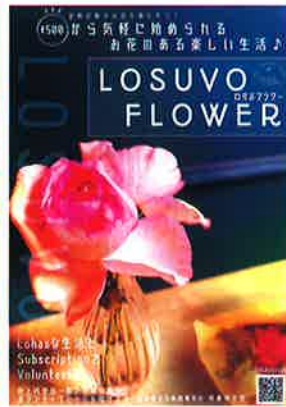
進路対策委員会が開催された八月はまだまだ感染拡大の最中であつたこともあり、八月七日に予定されていた進路説明会は残念ながら中止となりました。

例年受験を前に各大学の情報や入試の傾向などを入手できる有意義な場と



なるため、来年度は会場の感染対策等も踏まえ、開催できるよう検討を進めたいと思います。

さて、話は変わりますが、コロナ禍において、我が広商ではとても誇らしい活動をしてきています。その名は「LOSUVOFLOWER」ロサボフラワー。



商業研究部がコロナ禍によるイベント減少で厳しい現状にある広島の花業界を活性化させたいという思いから立ち上げたプロジェクトで、サブスクで気軽にお花を楽しめると共に売り上げの一部で地域の施設にお花を届けるといったボランティアにも参加できます。勿体ないお花ゼロを目指し沢山のの人に花と笑顔と元気を与えてくれます。

自分自身、この取組みに感銘を受け、直ぐにお花を取り寄せてみたのですが家の中で色鮮やかに咲き誇るお花は心に安らぎやゆとりを与えてくれる気が

します。

皆さんも是非ロサボフラワー試してみては如何でしょうか！



県高P連 幹事  
(三次地区高P連会長)  
半井章規

【PTA活動について】

コロナ禍での生活も二年が経ってしまいました。世界的にこの様になるとは初めてのことで戸惑いました。世界中、日本中、広島県と次々に入ってくる情報を目にして不安になることも多くありました。とりわけPTA活動を進めている会長として、生徒達の学校生活における影響に心配が尽きません。皆さんも今まで行ってきた行事ができない。出来なくて良いのか、どうにかしてできないものかと思案されてきたことでしょうか。

保護者からも、ともに勉強を進めることができるのか、行事が中止ばかりで思い出が作れないのではないかなど様々な声が上がりました。これまでに経験したことのない状況の中で様々な不安が保護者の中で大きくなっていました。

このような状況の中、子どもたちの話の中でのなるほどと感ずることがありました。それは、最初の自粛期間で休校が始まった時、友達に会えないのは淋しい、先生にも会って話したいと思う、でもリモート授業になったことで通学に使っていた朝夕の二時間が自

分のために有効に使えているのは嬉しい。

また、進学先を迷っていたが、新型コロナウイルスがきっかけで、生物に興味を持つようになり、専攻を生物にした。など、コロナ禍だから聞いた話だと思えました。生徒によって感じるところは様々で、決めつけたり、思い込みで代弁者のような振る舞いはしてはいけなく、気付くことができました。大人は、保護者は、さらにPTAは生徒たちに何をしてくれるでしょう。学校に通う意味とは何でしょうか。

他人と物理的や精神的にふれあう中で誰かを大事にする気持ち、誰かを認め、誰かに認められる事。生命の体の中で細胞は個で完結するが、それ以外は一人一つでは完結できなくて、めしべとおしべには、蜂や蝶や風が必要のように、人間にも、他者の関わりや助け合いが必要だということを気付くきっかけを作る場所の一つが学校なのかもしれません。

PTAは、役員だけで行うものではありません。各学校において、縁があつて集まったのだと思ひ、保護者一人一人が生徒のためにやれることを、一生懸命に考え、それをPTA活動を通しての行動に移していけばいいと思います。コロナ禍で思う事は、マスク着用や、外出自粛など、新しいルールができて、今までの自由がなくなつたと思います。しかし、そのルールの中で三次青陵高校の生徒たちは、出来る事を考え、今までのない青陵祭や、体育祭を企画しました。社会に出た時、会社、地域のルールの中で活動していきます。新型コロナウイルスで活動が自由に出来ない中で考えてきた子どもた

ちは、決められたルールの中でどのように行う事が良いのかという考えを持つた社会人になると思ひます。

終わりになりますが、一番に子どものことを考えた、PTA活動を今後も行っていきたいと思ひます。



県高P連 幹事  
(健全育成委員長)  
高端邦裕

「すべては子供たちの笑顔(未来)のために」

「諦めることより、今できることを」この言葉は二〇二〇年二月ごろから始まった新型コロナウイルスによって引き起こされた、感染予防対策による様々な学校行事中止を、新たな形へ変化させた言葉ではないかと思ひます。神辺旭高等学校では二〇二〇年五月にPTA主催の講演会が予定されておりました。

令和元年度広島県高等学校PTA連合会広島県大会において講演された「大窪シゲキ氏」の講演にとっても共感、感動し、会場から帰校途中に当時のPTA会長へ次回の講演会の講演者を大窪氏へ依頼したいと話し、その帰校車内からSNSを使い大窪氏への講演依頼をお願いしました。

講演会開催のため、大窪氏とのやり取りも順調に進めている中、突如発生した新型コロナウイルス。その猛威により、本来なら学校生活で大きな思い出となる部活動や大会は中止、卒業式入学式も縮小され、子供たちはコロナ

という恐怖と、通常の生活ができなくなつたことのストレスにより笑顔が消えてしまいました。もちろん予定していた講演会も中止となり、大窪氏への講演依頼もキャンセルとなりました。

二〇二〇年七月、二〇二〇年度初めてのPTA理事会が開催され、学校内の様々なイベントの中止や部活動の制限、大会が中止になったことや、今後についての協議がされている中、「子供たちの笑顔が消えている」と、あの理事の方の言葉がありました。

子供たちの笑顔は家庭はもちろん、学校の先生たち、学校内の雰囲気をもるく元気にする唯一無二のものです。その笑顔が消えるなんて・・・。

その理事会で出された臨時議案は「子供たちの笑顔のために、今私たち（PTA）にできること」。その議案を聞いた時にすぐに思い出されたのが、講演会でした。どのような形でもいい、「子供たちに多くのメッセージを伝えよう」と動画での講演会を開催することが提案、承認されました。すぐに大窪氏へのアクションを起こし、大窪氏からも「喜んで引き受けます」との連絡を頂き、動画での講演会を開催することになりました。

二〇二〇年八月大窪氏に御来校頂き一般教室での動画撮影を行いました。その動画の中にPTAからのメッセージも盛り込んで編集しました。

二〇二〇年十一月一日、「生徒たちへの激励メッセージ」として各学年別々の時間で動画の視聴を行いました。その日の大窪氏のラジオやSNSに生徒から多くの反応があったと、大窪氏

からの連絡がありました。視聴を終えた生徒たちからの感想では、大窪氏の思いや言葉が生徒に伝わり、生徒たちも心に大きな変化が生まれたような感想が多く、PTAに対しても、「この素敵なメッセージをくださったありがとうございます、PTAの方からのメッセージにあつた『形は違うけれど、このようにして届けられた』という言葉、すごく心に残りました。コロナの中、できないことが多いけれど、それを違う形で実行できることを知りました。様々な行事がなくなる中、与えて頂いた明るさを大切に頑張っていきたいと思います。『感想文を抜きま

す』すべては子供たちの笑顔のため、諦めることより、今できることを考えての行動が、子供たちの笑顔（未来）を大人たちが知恵を出し合つて向き合つた結果なのかと感じました。このことでPTAとしても、親としても大きく成長できました。

今後PTAとして子供たちの笑顔を大切に守つていきたいと思ひます。

この度、広島県高等学校PTA連合会会長 岡崎氏より執筆の依頼があり、ペンを取らせていただきました。構成が乱雑な文脈なってしまうかもしれませんが御容赦ねがいます。



県高P連 幹事  
(広島北区高P連会長)  
**石橋 良修**

会報誌をお読みの皆さんこんにちは。

この度、広島県高等学校PTA連合会会長 岡崎氏より執筆の依頼があり、ペンを取らせていただきました。構成が乱雑な文脈なってしまうかもしれませんが御容赦ねがいます。

コロナ禍中で、中々お会いできる機会がないので、私を知らない方々が多いと思ひますので自己紹介から入らせていただきます。

私は今年五十歳、石橋 良修（いししばし よしのぶ）と申します。現在広島県立安西高等学校PTA会長を務めさせて頂いております。

PTAとの関わり合いを初めて持ったのは、長子が広島市立沼田高等学校に入学した折に、PTA役員決めに出席した事からはじまります。「なり手の少ないPTAクラス役員」当然皆さん、仕事をお持ちになつておられますので「手は上がりません」それでもクラス役員は決めなければなりません。

そこで委員選挙委員さんが用意されたのがクラス人数分の縦線が入つた用紙「クジによる抽選」です。長子の出席番号が早かつたのでクジ場所は選びたい放題の状態でした。できるなら当たらないようにと「はずれ」の場所を選んだつもりが、なんと後ろの方に回した瞬間「棒クジ」が「アマダクジ」に進化、厳選な抽選の結果、見事クラス役員に当選、役員生活の幕開けでした。それからと言うもの、事ある学校行事等に参加している折、当時PTA会長をしておられた川本さんから「出席率が良いので次期会長職をお願いできないだろうか？」と打診を受けました。その時はどっちつかずの返答でお返ししました。幾度かの会長職要請により断る理由が見つからず、「私でよければ」と引き受けることに。訳のわからぬままにやってきた会長職一年目でしたが、次子も広島市立沼田高等学校入学が決まつたことで継続の会

長職三年間、ここで終える予定のはずだった会長職ですが、未っ子は広島県立安西高等学校に入学したにもかかわらず、なんとこの時、広島県立安西高等学校PTA会長を務めておられたのが、広島県中小企業家同友会（異業種交流会）で面識もあつた山路先輩、「席は確保しておくから」の一言で広島県立安西高等学校PTA副会長に就任、山路さんが退任されると、再び広島県立安西高等学校PTA会長として就任し、なぜかいまも皆さんと関わりを持たせていただいております。

さて、新型コロナウイルス感染により、皆さん方もPTA活動は大変御苦労されておられると思います。本校でも昨年は学校行事がほとんど中止になるなかで、PTA活動も自粛せざるを得ない状況になりました。せめてとおもい用事を作つては学校に赴き学校の様子などの情報を仕入れ、ラインを使い役員さんに情報発信をして何とか最低限の活動を繋いでいきました。本年度は昨年度の影響もありましたが、何とか学校行事が開催されて行く中で、役員会の開催、校内清掃、朝の挨拶運動、広報誌の発刊等を進めて、少しでも風通しの良い学校づくりを役員共々携わっております。

さて、ここからは私事の話になります。私が勤めている会社は建設業界の中で内装仕上げ業を生業にしております。が、ここにも大きな変化があります。それは現場で就労している人（特に若手がいないので）で大手建設会社の下請けで入る会社によっては技能実習生制度を活用し外国人労働者が増えている

長職三年間、ここで終える予定のはずだった会長職ですが、未っ子は広島県立安西高等学校に入学したにもかかわらず、なんとこの時、広島県立安西高等学校PTA会長を務めておられたのが、広島県中小企業家同友会（異業種交流会）で面識もあつた山路先輩、「席は確保しておくから」の一言で広島県立安西高等学校PTA副会長に就任、山路さんが退任されると、再び広島県立安西高等学校PTA会長として就任し、なぜかいまも皆さんと関わりを持たせていただいております。



ことです。

弊社従業員も押し寄せる年には勝てない年代が多く、昨年より求人を出してはいるのですが、御縁がない様子で・・・思い切ってこの度、この技能実習制度を活用し雇用促進をはかるつもりです。

広島は今後数多くの再開発が進んで行く中で、彼らの技術を磨く場になるとおもいます。

また法律関係になります。厚生労働省からの通達により、健康被害が懸念される現場作業については管理主任者等の有資格者が必要となり今後一層安全書類面等も厳しくなる様子です。

なんらとりとめのない私事の話になりましたが、読まれた方が何か感じられると幸いです。



幹事 連 P 連 高 尾 三 地 区 高 P 連 会 長  
吉 浦 史 貴

オヤジの威厳、カタ無し

昨年引き続き、コロナの波に翻弄された一年となりました。

感染拡大防止のために、行事なども引き継ぎ中止や縮小となりました。

それが直前に決定することもあり、PTAも学校も、大変難しい対応に追われています。

コロナ禍真っ只中に高校に進学した娘は二年生になりました。学校行事や部活動が例年のように行えない影響で、友人や先輩とふれあう機会が少ない上に、マスク姿。入学時には「学年色分

けの体操服を着ていないと、先輩なのか同級生なのか分からない。」とこぼしていましたが、今年の文化祭や遠足、高体連の大会のための部活動練習などを経て、気の合う仲間ができたようです。この歳ごろ特有の、意味不明な言葉を言うような時もあります。聞き返して説明を求めたりしたら面倒がられて即座に嫌われますので、分かったふりをしてうなづく時もあります。男親は、難しいのです。

娘の通う高校は、私と家内の母校でもあります。伝統的な小テスト、伝統的な再テスト、伝統的な大量の課題、に追われている姿は四半世紀前と変わらぬ姿で、微笑ましい限りです。

しかし行事や部活動は、コロナの影響をどれだけ受けているかの違いが、母校だけによく分かります。

時代は変わっても、やはり勉強以外の息抜きは必要です。部活動のバレーボールを全力でやった自負がある私にとっては、感染拡大防止とはいえ、今の娘たちの状態が不憫に思えます。

卒業までに一度でもおびのびと行事を楽しむ機会が来てくれるよう願うばかりです。

時が経つのは早いものです。十七年前、娘が産まれた時「高校生になった娘に、万が一彼氏ができたら、私が庭で居合道の素振りをして彼氏の野郎を威圧してやらにゃーいけん」なんて思っていました。

半分冗談、半分本気で思っていました。ところが十七年後、誰が、娘本人が居合道を始めて二段まで取得すると想像したでしょうか。夢想神伝流だそうですね。私自身は結局、まだ刀を握っ

た事ありません。八段の先生に師事している！との事ですが、何段まであるのかも私はよく分かっていません。心配及ばず彼氏は居ないので安心していいのですが(模造刀や竹刀を振り回しているうちは安心かと)、今度は私が庭で威圧されている気がしています。木刀や竹刀をぶんぶん振っている娘に「あー、パパおかえり」なんて言われたら、ついつい唾をゴクッと飲んでしまいます。家庭内で下手な事は言えませんが、剣道二段、居合道二段の娘に、この親父を守ってもらおうかと思つています笑。

なるべく学校で楽しい思い出を作ってくれよと願いながら、今朝も送り出しました。

皆さまも、日常が大きく変化して親子で戸惑われている方も多いかと存じます。うちもそうです。年に一度の小旅行も行けないまま、旅先を選ぶ楽しみだけ味わっています。「想像小旅行」に何度も出発しましたが、実際には行けていません。「箱根」とか「登別」とか「草津」とか書いてある入浴剤を入れて風呂に入って、行った気になるなんて事もやりましたが、何せ六種類しか無いので、飽きます。新しい「全国の温泉」シリーズの入浴剤を手に入れなければなりません。親父はこのささやかな楽しみが良いですが、青春時代を過ごす娘はそうはいかない。

もうすぐ修学旅行に行けると楽しみにしています。行き先はすぐ近くの国内に変更になりかなりガツカリしていましたが、新しい変異株などのニュースもあり、行けるだけでも喜ばねばなるまい、そう

思っています。

高校生のみなさんには、なんとか楽しみを見つけてながら、高校生活で楽しい思い出を作つて欲しいと願っています。



幹事 連 P 連 高 尾 三 地 区 高 P 連 会 長  
上 藤 勝 典

「呉地区高等学校 PTA 連合会の紹介」

皆さんこんにちは、私は昨年度に引き続き今年度も呉地区高等学校 PTA 連合会会長となりました、広島県立広島高等学校 PTA 会長の上藤と申します。あと数か月で今年度も終わりますがよろしく願います。という事で、私をご存じでない方のためにまずは自己紹介から。

私は、妻一人、子供二人、母一人、犬一匹(かわいいチワワ、「チロル」といいます)の六人家族です。

PTA との出会い、長女が高校2年生の時になります。また、長女が入学した呉昭和高校は私の母校でもありました。

呉昭和高校では副会長を経て会長を一年務め、広高校では副会長を経て会長を二年、PTA は現在五年目、またその五年で、呉地区公私立高等学校 PTA 連合会会長を一年、呉地区高等学校 PTA 連合会会長を二年、本当に濃い五年間を経験させて頂いています。

そして、プライベートでは八月に独立、新たな事業を開業しました。仕事にプライベート、そして PTA 活動な

ど、大変な事もありますが、毎日を日々楽しんでいきます。

それでは本題に入らせていただきます。「呉地区高等学校PTA連合会」が構成する単位PTAは、広、呉宮原、呉三津田、音戸、大柿、呉昭和、呉工業、呉商業、呉地区の公立高校九校、呉南特支、呉特支の特別支援学校二校と呉特支江能分級の一分級、武田高校、呉港高校、呉青山高校、清水ヶ丘高校の私立高校四校の十五校一分級が構成単位PTAです。

広島県高等学校PTA連合会には私立の高校は所属していませんが、私たち呉地区高等学校PTA連合会は、呉の子供たちのために、公私立高校が協力して活動しています。

今年度は、コロナウイルス感染症により行事が中止となりましたが、昨年度は、子供たちにエールを送るため、STU48、フライガールの御協力により、応援メッセージを作成し、YouTubeにて応援メッセージの配信を行いました。また、各校の書道部の生徒による作品を、ゆめタウン呉にて約一カ月間展示をしていただきました。呉地区全員で作上げた作品です。



このように、呉地区では公私立高校の垣根を飛び越えた活動をしています。そして、呉地区にはもう一つ、「呉地域の公私立高等学校PTAが協働で行う青少年の健全育成を目指す団体」として、呉地区公私立高等学校PTA生活指導連合会もあります。

ここは、呉地区の単位PTAと各校の生徒指導の先生方、呉地域の関係諸団体との生徒指導に関する情報交換などを行う団体となっています。このように、呉地区は他地区にはない、呉地区独自の文化があります。

これからも呉地区は、「呉の子供たちのために、そして広島県の子供たちのために」をスローガンに、各地区の皆さんと共に頑張っていく予定です。今後も呉地区をよろしく願います。



県高P連 幹事 (総務委員長) 柿原 誠一郎

広島井口高校のPTA会長を務めさせていただき、あつという間に一年が経ちました。本年度もコロナ禍でのPTA活動になりました。保護者の方々においても、生徒たちの姿を実際に見る機会が減ってしまっただかと思えます。

その中で、昨年、見学出来ない状況下でも、生徒たちの姿を見ていただけるとは何かないかと考えました。そして、本校の行事(クラスマッチとた

ちはな祭)にて業者様に撮影していただいたドローンによる動画、写真を本校のホームページに掲載させていただきました。PTAの皆様からは絶賛をいただきました。喜んでいただけただけことを実感いたしました。

また、当日は感染防止対策のため執行部のメンバーだけの参加になりましたが、お弁当と飲み物販売をさせていただきました。生徒たちにも喜んでいただけましたかと思えます。

このような状況下ですが、生徒たちもこの状況の中で毎日を過ごしています。私たち保護者としても共に乗り越えていかないとはいけません。

このような状況、また時代も変わっていく中で、できる事を考え、時には変化をしながら活動をしていきたいと思っております。

これからも皆様と協力し、よりよいPTA活動ができるよう頑張っていきたいと思います。



県高P連 幹事 (調査広報委員長) 清原 秀樹

今年度、調査広報委員長をさせていただきました。大変お疲れです。呉市立呉高等学校PTA会長の清原秀樹と申します。よろしくお願いたします。今回はあえてPTA活動でないことを書かせていただきます。

私は、呉市役所に勤務しており、現在、広まちづくり推進協議会事務局と

して、まちづくりを中心に活動をしております。

当協議会は、令和元年度に広まちづくり計画の改定を行うために、広高等学校・呉商業高等学校・呉港高等学校・広島国際大学と連携して、「若者がチェレンジできるまち」、「若者の発想でまちの再生」を目指して、計画改定を行いました。

この時に、各学校から学生の方を推薦していた。働き、ワークシヨップや現地調査、また地域の方への取材などを行う体験型のグループとして、「ひろまち design factory」を設立しました。

令和二年度は、今後、「ひろまち design factory」で何をしてみたいかと話し合った中から、学生向けのフリーペーパーの制作に取り組みしました。

フリーペーパーを制作することで、自分たちが通っている「ひろまち」を多くの学生にまちを歩いてもらい、ひろまちの魅力を知ってもらいたいという思いで取材し制作しました。

内容の一部ですが、広高等学校・呉商業高等学校・呉港高等学校・広島国際大学の魅力を発信するという目的で「我が校の学校自慢」や学生が気軽に立ち寄れるお店や隠れスポットなどを掲載しました。

また、同時進行で、今まであったひろまちの活動拠点である「ひろまちギヤラリー」の老朽化に伴い、新しい拠点施設を探すことにしました。

新しい「ひろまちギヤラリー」候補としてあがったのが、まちの中心部にある物件でした。その物件の中は何も



ない単なるスペースだったため、「若者で自分たちの基地をつくろう！」ということになりました。

このギャラリを「どのようにしたか」、「どうすれば多くの方に喜んでもらえるか」など、コンセプトから考え、約八か月かけて一からDIY（ボランテア）でつくりあげました。学生たちは、西日本豪雨災害や新型コロナウイルスによって、まちが元気をなくしていることや環境に対する思いが強くなっていました。

DIYを行う上で、西日本豪雨災害によって出た廃材（リサイクル）や環境に優しい漆喰などを使い、自分たちの思いや安心して利用してもらえよう取り組みました。

この取り組みには、延べ四十名以上の子供から高齢者の方まで関わっていた。また、まちづくりの一つの基盤をつくることのできたと考えます。

令和三年三月に「ひろまちギャラリオープンイベント」を開催しました。雨にも関わらず、ステージ（子供のダンスや高校生・社会人によるバンドなど）やひろまちのグルメ店舗の協力を得ながら、無事オープンすることができました。

現在も、毎週金曜日に「ひろまちギャラリ」で、ひろまちについて語る会「広町談義」を開催しています。

夜、十八時くらいから誰でも参加できる形で開催していますが、このギャラリのDIYに関わってくれた、当時の高校三年生（現在大学生）も我が家のように足を運んでくれます。（「ひろまちの宝」と私自身思っています！）ギャラリのDIYを行っています

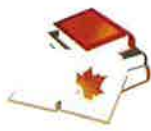
る時も、「毎週、毎週、よく来るね！遊びに行かんのん？」、「おっちゃんらが高校生の時はDIYとかやらずに遊んでたよ！」と楽しく話をしながら取り組んでいました。

また、「休みの日に何でDIYをやりに来るん？」、「友達と遊んでいた方が楽しいじゃろ！」と問いかけたら、「やっぱり自分たちのまちが好きだから」、「自分たちの思いが話せて多くの方と一緒にまちのことを考えて、それが形になっていくのが楽しいから」と言ってくれました。

その言葉を聞いて、これからひろまちは「新しいことにチャレンジできるまち」、「若者が中心になってまちを変えてくれる」と確信しました。

この「ひろまちdesign factory」は高校生が中心となり、学校ではなかなか体験することのできない「地域の方との連携」や「自分たちが自由に計画したことを自分たちの力で実践する」、このことによって自分自身の人生観が変わればと思っています。

今、「ひろまちdesign factory」を設立して三年目を迎えています。各学校内でも総合学習やボランテア活動の一環として、毎年新しい学生が参加してくれています。学生同士の繋がりができ、「学園都市 広」の魅力を見ていただきたいと思ひ、掲載させていただきました。



県高P連 幹事  
(広島東地区高P連会長)

宮尾 雅彦



県高P連 幹事  
(研修委員長)

奥村 正志

【広島東地区連合会】

昨年度から続くコロナ禍の影響で令和三年度の第一回の会長会議は会長校である安芸府中高校で開催しました。

例年であれば、海田町にあるJASAピア・アキで会長会議を行い、その後、情報交換会で各校との繋がりを保持していましたが、残念ながら願いは叶いませんでした。しかし、良いことあります。

会長校である学校で会長会議を行うことにより、普段訪れることのない他校の様子を見ていただくこともできます。今までどおりのことができないことが、良いこともある。そう思うことができました。

令和四年五月にある広島東地区の総会には、コロナ禍前の状況に戻り、情報交換会で各校との繋がりをもちたいと願っています。さて、コロナ禍に於ける各校のPT

A活動の考え方は様々です。感染拡大を防止するために活動を自粛するPTA、出来ることを考え活動をしたPTAの二つに分かれています。広島東地区も同じです。そこで、コロナ禍に負けずPTA活動を行った事例を紹介します。

○安芸南高校

PTA総会では総会のほか参観日も行っていますが、コロナ禍での参観は難しいと判断し、代わりとして講演会「命の授業」をPTAと学校で計画しました。



講師として腰塚勇人さんを招き命の大切さを学びました。急遽、オンラインでの開催になりましたが、先生方の協力で無事に開催することができました。体育大会は残念ながら中止となり代替として、安芸南スポーツフェス





PTAは、両日ともに役員さんの協力で競技終了後に、「生徒元氣プロジェクト」としてスポーツドリンクを配布しました。生徒は大喜びで、参加した役員のみなさんもほっこり！逆に元気をもらいました。



文化発表会はこのコロナ禍の中飲食を伴うことはできないと判断し、上野学園ホールでの開催を計画。しかし、緊急事態宣言が発令され、急遽、体育館での開催、しかも台風通過。このような状況の中でもみんなの想いが開催させることができた。当日は朝、昼の二部制とし、PTAは生徒入



**安芸南PR大作戦**  
学校、PTAで協力し、市町の施設にPRポスターを掲示してもらえるところになりました。ポスターは継続的に張替えています。



れ替え時の椅子の消毒を行いました。生徒たちの輝く姿に、オオクボックス、HIPPOYをゲストとして迎え、できない↓どうすればできるか？みんなで考え、思い出の最幸な一日にしました。



全県一斉あいさつ運動は生活委員会の生徒と役員が正門前に立ち登校してくる生徒さんに気持ちの良い声かけをしました。



**○海田高校**  
美化活動は生活委員会と緑化部の皆さんで、正門横の花壇に季節の花の苗を植えました。  
コロナ禍で使われなかったPTA予算を活用し、アルコールスプレーやシートを購入して生徒や教室に配付しました。



文化祭は一般非公開となったため、保護者の方から絵手紙や書を募集して展示という形で参加しました。





○黒瀬高校



全県一斉あいさつ運動は保護者が参加し登校する生徒の元気な姿を見て安心しました。

認知症サポーター養成講座は、毎年福祉科は行っておりましたが、「学校全体で福祉の心を育む」という理念に協賛し、昨年度からPTAも受講するようになりました。



○西条農業高校

校内研修会はコロナの影響が読みきれなかったため、講師の依頼が出来ず、日程調整が難しくなりましたので、やむを得ず中止にして来年度に向けて実施計画を立てて行くことにしました。文化祭は保護者の参加はできませんでした。が、一般の方は入場できまませんでした。



密を避けるため保護者も学年毎に入場時間を分けて実施しました。入場の際に消毒、検温を徹底し校内も順路を決めなるべく一方通行になるよう行いました。



最後に、PTA活動については以前から必要・不要と賛否は様々です。しかし、先生方と保護者との良好な関係を築くことがPTA活動だと考えています。急速に変化する時代にPTA活動も変わらなければなりません。生徒・教員・保護者のために持続可能なPTA活動が必要です。

令和4年 県高P連行事予定

- 1月15日(土) 令和3年度第2回単P会長研修会(広島YMCA 国際文化ホールほか)
- 3月中旬 令和3年度第2回常任委員会(広島YMCA 本館会議室)
- 6月9日(木) 令和4年度県高P連定例総会(広島県民文化センター)
- 6月下旬 令和4年度第1回常任委員会(広島YMCA 本館会議室)
- 7月25日(火) 第64回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会愛媛大会  
(松山市 愛媛県民文化会館メインホール)
- 7月30日(土) 令和4年度第1回単P会長研修会(広島YMCA 国際文化ホールほか)
- 8月11日(木) (祝日) 県内国公立大学進学説明会(広島県民文化センター)
- 8月25日(木) ~26日(金) 第71回全国高等学校PTA連合会大会石川大会  
(金沢市 石川総合スポーツセンターほか)
- ※令和5年 宮城県 令和6年 茨城県 令和7年 三重県
- 10月30日(日) 広島県大会(福山地区) (リーデンローズ福山)
- 11月1日(火) 全県一斉あいさつ運動

※各大会、研修会等の開催については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、やむを得ず中止となる場合があります。御了承ください。

広島県高等学校PTA連合会

# 高校生総合保障制度

## この制度の特徴

〈高校生総合保障制度は、団体総合生活保険のペットネームです。〉

- 1. 団体割引25%適用・損害率による割引30%適用** (天災危険補償特約保険料には損害率による割引を適用しません。)
- 2. 病気・けが・賠償事故・携行品等を補償**
- 3. 国内外を問わず24時間の傷害・病気等を補償**  
○携行品(学校管理下動産補償特約)の補償は学校管理下中のみです。  
○夜間・休日も24時間事故の受付をしております。
- 4. 「メディカルアシスト」で24時間・365日無料各種医療に関するご相談に応じます。**  
○また、夜間の救急医療機関や最寄りの医療機関をご案内いたします。

※詳細はパンフレットをご確認ください。

※補償期間(保険期間)は1年となります。(令和3年4月25日午後4時より令和4年4月25日午後4時まで1年間)

※中途加入は補償期間が異なります。詳しくは取扱代理店までお問合せください。

### 〈保険金額と掛金(保険料)〉

補償内容		W3タイプ	W2タイプ	W1タイプ	Aタイプ	Bタイプ
個人賠償責任 (記録情報限度額 500万円)	国内	1事故 無制限	1事故 無制限	1事故 1億5,000万円限度	1事故 1億5,000万円限度	1事故 1億円限度
	国内示談交渉サービス付き					
	海外	1億円限度	1億円限度	1億円限度	1億円限度	1億円限度
病気入院 (1日あたり)		5,500円	5,200円	5,000円	—	—
傷	死亡・後遺障害	557万円	512万円	422万円	359万円	262万円
	入院 (1日あたり)	6,500円	6,000円	5,000円	4,500円	3,500円
	手術	上記入院日額の10倍(入院中の手術)、5倍(入院中以外の手術)				
害	通院 (1日あたり)	3,600円	3,600円	2,600円	2,600円	1,500円
	地震・噴火・津波	○	—	—	—	—
	熱中症	○	○	○	○	○
	細菌性食中毒	○	○	○	○	○
携行品(学校管理下動産補償)	1年で20万円限度	1年で20万円限度	1年で10万円限度	1年で10万円限度	1年で10万円限度	
自己負担額:1事故3,000円						
被害事故補償		1事故3,000万円	1事故2,000万円	1事故1,000万円	1事故1,000万円	—
育英費用		200万円	150万円	100万円	100万円	50万円
地震・噴火・津波		○	—	—	—	—
制度維持費		350円				
掛金(1年分)		17,000円	15,000円	12,000円	10,000円	7,000円

○携行品の損害保険金は1年間でW3、W2タイプは20万円限度。W1、A、Bタイプは10万円が限度となります。

(注)携行品の損害保険金のお支払額の合計が保険金額(W3、W2タイプは20万円限度：W1、A、Bタイプは10万円)と同額となった場合は、この携行品の補償は損害発生時に終了します。

※制度掛金は制度維持費350円を含んでおります。

※上記保険料は職種別Aの方を対象としたものです。お子様(被保険者-保険の対象となる方)が継続的にアルバイトに従事している等で、職種別Aに該当しない場合は、保険料が異なりますので、取扱代理店にお問い合わせください。

※病気入院(入院医療保険金)について：新規ご加入時の支払責任の開始時より前に被った病気については保険金お支払いの対象となりません。(ただし、新規ご加入時の支払責任の開始する日からその日を含めて1年を経過した後に生じた保険金支払事由については、保険金お支払いの対象となります。)

このご案内は団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

〈お問合せ先〉取扱代理店 ㈱東京海上日動パートナーズ中国四国本店 TEL:0120-018-217 令和3年3月作成 <20-TC09161〉

〈引受幹事保険会社〉



## 東京海上日動

(担当支社) 広島支店 広島中央支社  
広島市中区八丁堀3-33 広島ビジネスタワー  
TEL 082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は上記お問合せ先にご請求下さい。

〈共同引受保険会社〉



AIG損害保険株式会社 広島支店  
広島市中区基町12-6 富士火災広島ビル  
TEL 082-535-6010

この保険契約は、上記の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

〈引受保険会社〉 東京海上日動火災保険(幹事保険会社) AIG損害保険株式会社